

平成 29 年度いのちのセミナー 講師の方々

<p><b>第 1 回</b> 平成 29 年 5 月 28 日 (日) <b>岸見 一郎</b> 哲学者  「よく生きるということ」 ～ 「いのち」の価値～</p>		<p>昭和 31 年京都府生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程満期退学(西洋哲学史専攻)。専門の哲学に並行して、アドラー心理学を研究。京都教育大学教育学部、甲南大学文学部、奈良女子大学文学部非常勤講師などを経て、現在、京都聖カタリナ高等学校看護専攻科(心理学)非常勤講師。著書に『嫌われる勇気』『幸せになる勇気』『生きづらさからの脱却 アドラーに学ぶ』『アドラー 人生を生き抜く心理学』など多数。</p>
<p><b>第 2 回</b> 平成 29 年 7 月 25 日 (火) <b>安田 一之</b></p>		<p>( 今 回 募 集 )</p>
<p><b>第 3 回</b> 平成 29 年 8 月 18 日 (金) <b>釈 徹宗</b></p>		<p>( 今 回 募 集 )</p>
<p><b>第 4 回</b> 平成 29 年 10 月 6 日 (金) <b>若松 英輔</b> 批評家 随筆家</p>		<p>昭和 43 年生まれ。慶應義塾大学文学部仏文科卒業。平成 19 年「越知保夫とその時代 求道の文学」にて、三田文学新人賞を受賞。平成 28 年『叡知の詩学 小林秀雄と井筒俊彦』にて、西脇順三郎学術賞を受賞。著書に『イエス伝』『魂にふれる 大震災と、生きている死者』『生きる哲学』『霊性の哲学』『生きていくうえで、かけがえのないこと』『言葉の贈り物』など多数。</p>
<p><b>第 5 回</b> 平成 29 年 10 月 27 日 (金) <b>本郷 由美子</b> 大阪教育大学附属池田小児童 殺傷事件被害者遺族 精神対話士</p>		<p>平成 13 年、大阪教育大学附属池田小学校児童殺傷事件で当時 7 歳の愛娘を亡くす。平成 17 年、精神対話士の資格を取得、アウトリーチの心の支援を始める。平成 23 年、東日本大震災被災者支援「がんばろう日本倶楽部」で子どもたちの支援活動に携わる。平成 26 年から東京都内にある被災者避難住宅にて被災者のこころのケアに従事。著書に『虹とひまわりの娘』など。</p>
<p><b>第 6 回</b> 平成 29 年 11 月 24 日 (金) <b>川島 実</b> 医師 華嚴宗僧侶</p>		<p>昭和 49 年京都府生まれ。京都大学医学部在学中にボクシングでプロデビューし、平成 12 年度西日本新人王。京都大学卒業、プロボクサー引退後、自給自足を目指して山奥で暮らした時に僻地医療と出会い、その後も居を転々としながら救急、地域医療を学ぶ。平成 23 年、東日本大震災をきっかけに気仙沼市立本吉病院院長。被災地で在宅診療を軸に地域医療を再建する。その後、東大寺で得度し、奈良でフリーの医師として暮らしている。</p>
<p><b>第 7 回</b> 平成 30 年 1 月 12 日 (金) <b>佐々木 慈瞳</b> 音羽山観音寺副住職</p>		<p>中央大学卒業、早稲田大学大学院人間科学研究科修了。中央大学の事務局で 10 年間勤務の後、高野山真言宗と融通念仏宗で得度し、音羽山観音寺副住職となる。その他、奈良県教育委員会スクールカウンセラー、奈良県総合医療センターがんサポートチーム心理士、西奈良中央病院緩和ケア病棟臨床宗教師として活動している。東北大学大学院の臨床宗教師研修 2 期生。</p>
<p><b>第 8 回</b> 平成 30 年 3 月 4 日 (日) <b>名越 康文</b> 精神科医 相愛大学客員教授 高野山大学客員教授</p>		<p>昭和 35 年奈良県生まれ。近畿大学医学部卒業後、大阪府立中宮病院(現：大阪府立精神医療センター)にて、精神科救急病棟の設立、責任者を経て、平成 11 年に同病院を退職。その後も臨床に携わる一方で、テレビ・ラジオでコメンテーター、映画評論など様々な分野で活躍中。専門は思春期精神医学、精神療法。</p>

(敬称略)